

🎵 のだめ音楽会について

ドラマ、映画も大ヒットしたコミック「のだめカンタービレ」。  
老若男女を問わず、幅広い年齢層に人気があり、クラシック音楽の世界に新しい風を巻き起こしました。  
原作は終わってしまいましたが、“のだめ音楽会”は根強い人気に支えられ、続いています。  
この音楽会は、オーケストラのバックに映し出される原作のシーン、  
コンサート独自の楽曲解説のスライドが演奏と一体となって映し出され、  
“のだめ”のクラシック音楽監修に携わっている茂木大輔さんのユーモアに溢れるわかりやすい解説が入ることで、  
原作のファンからクラシック初心者の方まで、楽しんで満足いただけるコンサートとして支持されています。



©二ノ宮知子/講談社

🎵 プロフィール



指揮  
**茂木 大輔**  
Daiske Mogi

ミュンヘン国立音楽大学大学院修了(オーボエ専攻)。1986年からシュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団の第1オーボエ奏者を経て、90年からNHK交響楽団首席オーボエ奏者。多数のCDをリリースして注目を集める。96年から指揮活動に入り、オーケストラの楽器や、バッハの受難曲、ベートーヴェンのシンフォニーなどの解説コンサートで全国的に活躍。二ノ宮知子「のだめカンタービレ」原作に取材協力、ドラマ、アニメ、映画では「クラシック監修」と俳優の演奏演技指導などを担当した。現在までに東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などを指揮している。指揮を故：岩城宏之、外山雄三、広上淳一、三河正典の各氏に師事。執筆でも知られ、「オーケストラ楽器別人間学(新潮文庫)」など多数の著書がある。最新刊「拍手のルール(中公文庫)」。



**名古屋フィルハーモニー交響楽団**  
Nagoya Philharmonic Orchestra

1966年に創立。73年、名古屋市の出捐により財団法人となる(2012年3月より公益財団法人)。2013年4月、マーティン・ブラビンズが第8代常任指揮者に就任、多彩なレパートリーを誇る英国の実力派指揮者の就任に、全国から高い注目と期待が集まっている。ほかに現在の指揮者陣には、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)、円光寺雅彦(正指揮者)、川瀬賢太郎(指揮者)が名を連ねている。88年にヨーロッパ2カ国、00年にアジア8カ国、04年に「ブラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3カ国ツアー、06年にアジア7カ国ツアーを実施、大成功を収める。



【Aプロ】  
ピアノ  
**内匠 慧**  
Kei Takumi

📍 春日井出身!

1992年愛知県春日井市生まれ。3歳よりヤマハ音楽教室にてピアノを習い、ヤマハマスタークラス特別コースを修了。2012年11月の第8回浜松国際ピアノコンクールにて、最年少でファイナルに進出し、第6位、さらに日本人作品最優秀演奏賞を受賞、一躍脚光を浴びた。その他に、第62回全日本学生音楽コンクール高校生の部 全国大会第1位、第35回PTNAピアノコンペティション特級銀賞、オスロ・グリーグ国際ピアノコンクール特別賞など、国内外のコンクールで入賞を果たしている。また、これまでに名古屋・東京・パリでリサイタルを開催。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団など多数のオーケストラとも共演している。これまでに遠藤誠津子、後藤康孝、鈴木弘尚、吉永哲道、東誠三、ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、クリストファー・エルトンの各氏に師事。春日井市立中部中学校、愛知県立旭丘高校を卒業後、東京藝術大学を経て、現在、全額給費生として英国王立音楽院2年に在学中。



【Bプロ】  
ヴァイオリン  
**渡辺 玲子**  
Reiko Watanabe

📍 春日井出身!

超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性と幅広いレパートリーで、世界のヴァイオリン界をリードする逸材。1984年ヴィオッティ、86年バガニーニ二両国際コンクールで最高位を受賞。これまでにワシントン・ナショナル響、ロザンゼルス・フィル、セントルイス響、ヴァンクーヴァー響、フィルハーモニア管、BBC響、ウィーン・トーンキュンストラ管、ロシア・ナショナル管、バンベルク響、NHK響、香港フィルなどと共演。中でもシノーボリ指揮ドレステン・シュターツカペレ、サンクトペテルブルク響との共演はCDもリリースされ、大好評を博した。リサイタルとしても意欲的に活動しており、NYタイムズ紙はその演奏を「圧倒的なテクニック、華麗な音色、劇的な音楽表現」と評し、見出しに「ヴィルトゥオーゾの圧倒的迫力に脱帽」と掲げて絶賛した。秋田の国際教養大学特任教授(秋学期)。05年第35回エクソン・モービル音楽賞奨励賞受賞。ニューヨーク在住。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1725年製ストラディヴァリウス「ウィルヘルム」。  
<http://www.reikowatanabe.com/>

🎵 演奏予定曲

|| Aプロ ||

11:00 開場 / 11:30 開演

～映画「のだめカンタービレ 最終楽章・前編」より～

チャイコフスキー

♪ 祝典序曲「1812年」

～「のだめカンタービレ」第5巻 LESSON 26より～

ラフマニノフ

♪ ピアノ協奏曲第2番

ピアノ：内匠 慧



～「のだめカンタービレ」第21巻 LESSON 123より～

ムソルグスキー(ラヴェル編)

♪ 組曲「展覧会の絵」

|| Bプロ ||

15:00 開場 / 15:30 開演

～映画「のだめカンタービレ 最終楽章・前編」より～

チャイコフスキー

♪ 祝典序曲「1812年」

～「のだめカンタービレ」第11巻 LESSON 59,60より～

チャイコフスキー

♪ ヴァイオリン協奏曲

ヴァイオリン：渡辺 玲子



～「のだめカンタービレ」第21巻 LESSON 123より～

ムソルグスキー(ラヴェル編)

♪ 組曲「展覧会の絵」

市民会館・文芸館(文化フォーラム春日井)が  
「のだめ音楽会」の功績で  
総務大臣賞を受賞しました!

“のだめカンタービレ”のドラマ放送がはじまる前の2006年1月、春日井市で「茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」が初演されました。「漫画の素晴らしさと、音楽の楽しさを、わかりやすく伝えたい!」茂木さんのその想いを、かすがい市民文化財団のスタッフが手作りで映像にし、オーケストラとコラボレーションすることで、新たな“のだめワールド”を創り上げました。“のだめ音楽会”はこれまでに全国27都市で計67公演を開催し、延べ10万人以上の“のだめ”と音楽を愛するお客様にご覧いただきました。茂木さんとかすがい市民文化財団が、7年間にわたり全国ツアーを行ってきた、その功績を認められ、ユニークな文化活動に取り組む各地の公立文化施設を表彰する、平成23年度の「総務大臣賞(地域創造大賞)」に選ばれました。

中日新聞  
2011年12月15日掲載



読売新聞  
2011年12月15日掲載

